# 平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

| 事務事業名 | クリーンセンターしらさぎダイオキシン類対策事業 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 多額経費 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一般 | 4 | 2 | 2 | ○ |
| 政策 | 22快適な暮らしの環境をつくります | 担当課室 | クリーン推進課 | | | |
| 施策 | 225環境衛生の充実 | 担当課室長 | 小高　仁志 | | | |

## Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①前回の評価で掲げた内容 | 平成26年度から実施 | ③平成27年度に取組む改革・改善内容 | クリーンセンターしらさぎの通常運転に支障がないように対策工事を完成させる。 |
| ②①に基づく取組み結果 | | | |

## Ⅱ　事務事業の目的・概要

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①目的 | 対象 | 柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合 | 意図（対象をどうするのか） | 焼却により発生するダイオキシン類を抑制する。 |
| ②事務事業の概要 | 柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合負担金におけるダイオキシン類対策事業の負担金を支払う。 | | | |
| ③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など） | 焼却により発生するダイオキシン類を、地元との協定で定めた自主規制値　0.1ng-TEQ/m3N以下に抑制することが求められている。 | | | |

## Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

| | |
|---|---|
| ①平成26年度の事業の成果 | 柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合に負担金を支出した。 |

②成果を表す指標

| | 指標名称 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 単位 | 算定根拠 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| i | ダイオキシン類排出濃度 | 0.1以下 | 0.1以下 | 0.1以下 | ng-TEQ/m3N | 業務取得 |
| ii | | | | | | |
| iii | | | | | | |

| ③事務事業のコスト | 平成25年度決算 | 平成26年度決算 | 平成26年度決算（事業費）の主な内訳 | | 平成27年度予算 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費（千円） | 0 | 76,889 | 金額（千円） | 内容 | 55,162 |
| 国支出金（千円） | | | 76,889 | 負担金 | |
| 県支出金（千円） | | | | | |
| 市債その他（千円） | | | | | |
| 一般財源（千円） | | 76,889 | | | 55,162 |

## Ⅳ　評価・検討

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①課題（目的に対する現状など） | 今後、ごみ焼却施設の老朽化による延命化対策が必要となる。 | | | | | |
| ②評価 | i 市関与の妥当性 | 3高い | iii 公平性 | 3高い | v 総合評価 | 6精査・検証 |
| | ii 有効性 | 3高い | iv 効率性 | 3高い | | |
| ③上記評価の理由 | 通常運転に支障がないように対策工事を進める必要がある。 | | | | | |

## Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

| | | 平成26年度事業費の状況（単位；千円） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平成26年度の計画 | 負担金 | 計画事業費 | 予算額 | | | 決算額 | |
| ②計画に対する事業実績 | 負担金 | 76,889 | 76,889 | 当初 | 76,889 | 76,889 | H25からの繰越 |
| ③達成状況 | 完了 | | | H25⇒26繰越 | | | |
| ④未完了・非着手の理由 | | | | 補正 | | | 現年分　76,889 |
| | | | | 流用・充当 | | | |
| | | 平成27年度への繰越額（単位；千円） | | | | | |

# 平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

| 事務事業名 | し尿処理事務に要する経費 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 多額経費 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一般 | 4 | 2 | 3 | |
| 政策 | 22快適な暮らしの環境をつくります | 担当課室 | クリーン推進課 | | | |
| 施策 | 225環境衛生の充実 | 担当課室長 | 小高　仁志 | | | |

## Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①前回の評価で掲げた内容 | 合併浄化槽への転換を促進するため、補助制度の周知PRを図る。 | ③平成27年度に取組む改革・改善内容 | 合併浄化槽への転換を促進するため、補助制度の見直し及び周知PRを図る。 |
| ②①に基づく取組み結果 | 補助対象地域の単独浄化槽使用者及び汲取り使用者にPR文書を郵送し、前年度より転換基数が増加した。 | | |

## Ⅱ　事務事業の目的・概要

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①目的 | 対象 | ①汲取り便槽を使用している市民等、②下水道法事業計画認可区域を除く市域に合併浄化槽を設置しようとする者 | 意図（対象をどうするのか） | ①し尿による水質汚濁の防止及び生活環境補の保全、②家庭から出る生活雑排水の水質汚濁物質の軽減 |
| ②事務事業の概要 | し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行う。また水質汚濁を防止するため合併浄化槽の設置を補助する。 | | | |
| ③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など） | 長期的には、公共下水道の整備により汲取り世帯及び単独浄化槽世帯の減少が見込まれる。汚水処理の早期概成を目指す国・県の方針により、合併浄化槽の役割が増す可能性がある。 | | | |

## Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

| | |
|---|---|
| ①平成26年度の事業の成果 | 合併処理浄化槽を新たに設置するものに、設置費の一部について補助を行った。（18件） |

| ②成果を表す指標 | | 指標名称 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 単位 | 算定根拠 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | i | し尿収集・運搬率 | 100 | 100 | 100 | % | 業務取得 |
| | ii | し尿処理手数料徴収率 | 96.5 | 97.6 | 98 | % | 業務取得 |
| | iii | 補助金利用設置合併浄化槽基数 | 17 | 11 | 18 | 基 | 業務取得 |

| ③事務事業のコスト | | 平成25年度決算 | 平成26年度決算 | 平成26年度決算（事業費）の主な内訳 | | 平成27年度予算 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費（千円） | | 87,569 | 91,909 | 金額（千円） | 内容 | 94,035 |
| | 国支出金（千円） | 2,500 | 2,216 | 10,794 | 合併浄化槽設置補助 | 2,778 |
| | 県支出金（千円） | 2,392 | 4,058 | | | 4,358 |
| | 市債その他（千円） | 16,878 | 16,076 | | | 15,372 |
| | 一般財源（千円） | 65,799 | 69,559 | | | 71,527 |

## Ⅳ　評価・検討

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①課題（目的に対する現状など） | 汲取り及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数が伸び悩んでいる。 | | | | | |
| ②評価 | ⅰ市関与の妥当性 | 3高い | ⅲ公平性 | 3高い | ⅴ総合評価 | 6精査・検証 |
| | ⅱ有効性 | 3高い | ⅳ効率性 | 3高い | | |
| ③上記評価の理由 | 汲取り及び単独浄化槽からの合併浄化槽への転換件数が目標を下回る状況であるため、補助制度の検証を行う。 | | | | | |

## Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

| | | 平成26年度事業費の状況（単位；千円） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平成26年度の計画 | | 計画事業費 | 予算額 | | | 決算額 | |
| ②計画に対する事業実績 | | | 0 | 当初 | | 0 | H25からの繰越 |
| | | | | H25⇒26繰越 | | | |
| ③達成状況 | | | | 補正 | | | 現年分 |
| ④未完了・非着手の理由 | | | | 流用・充当 | | | |
| | | 平成27年度への繰越額（単位；千円） | | | | | |

# 平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

| 事務事業名 | 柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合に要する経費（し尿処理等） | 会計 | 款 | 項 | 目 | 多額経費 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一般 | 4 | 2 | 3 | |
| 政策 | 22快適な暮らしの環境をつくります | 担当課室 | クリーン推進課 | | | |
| 施策 | 225環境衛生の充実 | 担当課室長 | 小高　仁志 | | | |

## Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①前回の評価で掲げた内容 | 脱水汚泥のクリーンセンターしらさぎでの焼却について、地元の理解が得られるよう、柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合に調整を依頼する。 | ③平成27年度に取組む改革・改善内容 | あじさいの脱水方法の改善及び汚泥の焼却方法等について、検討する。 |
| ②①に基づく取組み結果 | 柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合において計画が具体化しなかったため、焼却方法等について継続して検討することとなった。 | | |

## Ⅱ　事務事業の目的・概要

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①目的 | 対象 | ①公共下水道を使用していない者、②柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合 | 意図（対象をどうするのか） | し尿及び浄化槽汚泥の適正処理 |
| ②事務事業の概要 | 構成団体（柏市沼南地区・白井市・鎌ケ谷市）の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために建設された施設の建設費償還金及び施設維持管理等の経費を負担する。 | | | |
| ③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など） | 今後、施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。長期的には、公共下水道供用開始区域の拡大により処理量の減少が見込まれるが、災害時の対応において位置づけの再評価が必要とされる。 | | | |

## Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

| | |
|---|---|
| ①平成26年度の事業の成果 | し尿処理費用及び、処理施設建設費償還金に係る負担金を支出した。 |

| ②成果を表す指標 | | 指標名称 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 単位 | 算定根拠 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | i | 処理率 | 100 | 100 | 100 | % | 業務取得 |
| | ii | | | | | | |
| | iii | | | | | | |

| ③事務事業のコスト | | 平成25年度決算 | 平成26年度決算 | 平成26年度決算（事業費）の主な内訳 | | 平成27年度予算 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費（千円） | | 215,153 | 171,835 | 金額（千円） | 内容 | 194,902 |
| | 国支出金（千円） | | | 38,996 | 管理費 | |
| | 県支出金（千円） | | | 132,839 | し尿処理費 | |
| | 市債その他（千円） | | | | | |
| | 一般財源（千円） | 215,153 | 171,835 | | | 194,902 |

## Ⅳ　評価・検討

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①課題（目的に対する現状など） | 施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。 | | | | | |
| ②評価 | i 市関与の妥当性 | 3高い | iii 公平性 | 3高い | v 総合評価 | 6精査・検証 |
| | ii 有効性 | 3高い | iv 効率性 | 3高い | | |
| ③上記評価の理由 | 焼却炉の耐用年数は一般的に15年とされており、今後、必要な修繕等を計画的に実施していく。 | | | | | |

## Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

| | | 平成26年度事業費の状況（単位；千円） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平成26年度の計画 | | 計画事業費 | 予算額 | | 決算額 | | |
| ②計画に対する事業実績 | | | 0 | 当初 | 0 | H25からの繰越 | |
| | | | | H25⇒26繰越 | | | |
| ③達成状況 | | | | 補正 | | 現年分 | |
| ④未完了・非着手の理由 | | | | 流用・充当 | | | |
| | | 平成27年度への繰越額（単位；千円） | | | | | |

# 平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

| 事務事業名 | 狂犬病予防等に要する経費 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 多額経費 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一般 | 4 | 1 | 1 | |
| 政策 | 22快適な暮らしの環境をつくります | 担当課室 | 環境課 | | | |
| 施策 | 225環境衛生の充実 | 担当課室長 | 山﨑　宏 | | | |

## Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①前回の評価で掲げた内容 | 狂犬病予防注射の接種率を上げるため、未接種犬の飼い主に対して、ハガキによる督促等を今後も行う。 | ③平成27年度に取組む改革・改善内容 | 狂犬病予防注射の接種率を上げるため、未接種犬の飼い主に対して、ハガキによる督促等を今後も粘り強く実施する。 |
| ②①に基づく取組み結果 | 登録数　5,818頭（H27.3.31現在）<br>注射済票発行数　4,279頭（H27.3.31現在）<br>接種率　73.55%（申請数：市把握分のみ） | | |

## Ⅱ　事務事業の目的・概要

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①目的 | 対象 | 市内畜犬 | 意図（対象をどうするのか） | 狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止及び撲滅する。 |
| ②事務事業の概要 | 毎年４月に獣医師会と協力して市内各所で集団登録と狂犬病予防注射を行っており、また事情により集団登録及び予防注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札等の交付を行っている。 | | | |
| ③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など） | 狂犬病予防法により、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が義務付けられ、動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、動物の個体識別措置（マイクロチップ）普及促進が決定している。 | | | |

## Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

| | |
|---|---|
| ①平成26年度の事業の成果 | 別添のとおり |

| ②成果を表す指標 | | 指標名称 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 単位 | 算定根拠 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | i | 畜犬登録数に対する予防注射接種率 | 75 | 74 | 74 | % | 業務取得 |
| | ii | | | | | | |
| | iii | | | | | | |

| ③事務事業のコスト | 平成25年度決算 | 平成26年度決算 | 平成26年度決算（事業費）の主な内訳 | | 平成27年度予算 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費（千円） | 2,503 | 2,670 | 金額（千円） | 内容 | 2,836 |
| 国支出金（千円） | | | 1,833 | 非常勤職員賃金 | |
| 県支出金（千円） | | | 206 | 印刷製本費 | |
| 市債その他（千円） | | | 80 | 鑑札等作製委託 | |
| 一般財源（千円） | 2,503 | 2,670 | 14 | 畜犬登録促進指導委託 | 2,836 |

## Ⅳ　評価・検討

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①課題（目的に対する現状など） | 狂犬病予防注射の接種率を上げる。 | | | | | |
| ②評価 | i 市関与の妥当性 | 3高い | iii 公平性 | 3高い | v 総合評価 | 6精査・検証 |
| | ii 有効性 | 3高い | iv 効率性 | 3高い | | |
| ③上記評価の理由 | 法令により、市に義務付けられた業務であるため、今後も継続していく必要がある。 | | | | | |

## Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

| | | 平成26年度事業費の状況（単位；千円） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平成26年度の計画 | | 計画事業費 | 予算額 | | 決算額 | | |
| ②計画に対する事業実績 | | | 0 | 当初 | 0 | H25からの繰越 | |
| | | | | H25⇒26繰越 | | | |
| ③達成状況 | | | | 補正 | | 現年分 | |
| ④未完了・非着手の理由 | | | | 流用・充当 | | | |
| | | 平成27年度への繰越額（単位；千円） | | | | | |

# 平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

| 事務事業名 | 第2斎場建設事業 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 多額経費 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 一般 | 4 | 1 | 3 | ○ |
| 政策 | 22快適な暮らしの環境をつくります | 担当課室 | 環境課 | | | |
| 施策 | 225環境衛生の充実 | 担当課室長 | 山﨑　宏 | | | |

## Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①前回の評価で掲げた内容 | 引き続き第2斎場建設に係る調査・手続きを実施予定 | ③平成27年度に取組む改革・改善内容 | 引き続き第2斎場建設に係る調査・手続きを実施予定（平成27年度については、四市複合事務組合における繰越金等にて事業を行う）。 |
| ②①に基づく取組み結果 | 設計、環境影響評価調査、火葬炉設計を実施 | | |

## Ⅱ　事務事業の目的・概要

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①目的 | 対象 | 四市複合事務組合（船橋、習志野、八千代、鎌ケ谷） | 意図（対象をどうするのか） | 第2斎場建設事業が社会慣習、公衆衛生、その他公共の福祉の観点から支障なく行われる。 |
| ②事務事業の概要 | | 四市複合事務組合（船橋市・習志野市・八千代市・鎌ケ谷市）が建設する第2斎場整備に必要な経費の負担を行う。 | | |
| ③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など） | | 高齢人口の増加に伴い、火葬件数が増加しており、既設の馬込斎場の拡充、増設の余地がなく、火葬能力の限界に近づいている。 | | |

## Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

| | |
|---|---|
| ①平成26年度の事業の成果 | 四市複合事務組合による第2斎場建設費に係る負担金を支出した。 |

②成果を表す指標

| | 指標名称 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 単位 | 算定根拠 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| i | 事務進捗率 | — | — | — | % | 業務取得※ |
| ii | | | | | | |
| iii | | | | | | |

※建設地が八千代市から習志野市に変更となったが、事業に係る総事業費は不明なため

| ③事務事業のコスト | 平成25年度決算 | 平成26年度決算 | 平成26年度決算（事業費）の主な内訳 | | 平成27年度予算 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費（千円） | 29,928 | 31,272 | 金額（千円） | 内容 | 0 |
| 国支出金（千円） | | | 31,272 | 負担金 | |
| 県支出金（千円） | | | | | |
| 市債その他（千円） | | | | | |
| 一般財源（千円） | 29,928 | 31,272 | | | 0 |

## Ⅳ　評価・検討

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①課題（目的に対する現状など） | 高齢人口の増加に伴い、馬込斎場の火葬能力が限界に達することが予測されるため、第2斎場の建設が急務となっている。 | | | | | |
| ②評価 | i 市関与の妥当性 | 3高い | iii 公平性 | 3高い | v 総合評価 | 6精査・検証 |
| | ii 有効性 | 3高い | iv 効率性 | 3高い | | |
| ③上記評価の理由 | 第2斎場建設の進捗により事業の精査・検証を行っていく必要があるため。 | | | | | |

## Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

| | | 平成26年度事業費の状況（単位；千円） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平成26年度の計画 | 負担金の支出 | 計画事業費 | 予算額 | | | 決算額 | |
| ②計画に対する事業実績 | 負担金を支出 | 31,272 | 31,272 | 当初 | 31,272 | 31,272 | H25からの繰越 |
| ③達成状況 | 完了 | | | H25⇒26繰越 | | | |
| ④未完了・非着手の理由 | | | | 補正 | | | 現年分　31,272 |
| | | | | 流用・充当 | | | |
| | | 平成27年度への繰越額（単位；千円） | | | 0 | | |